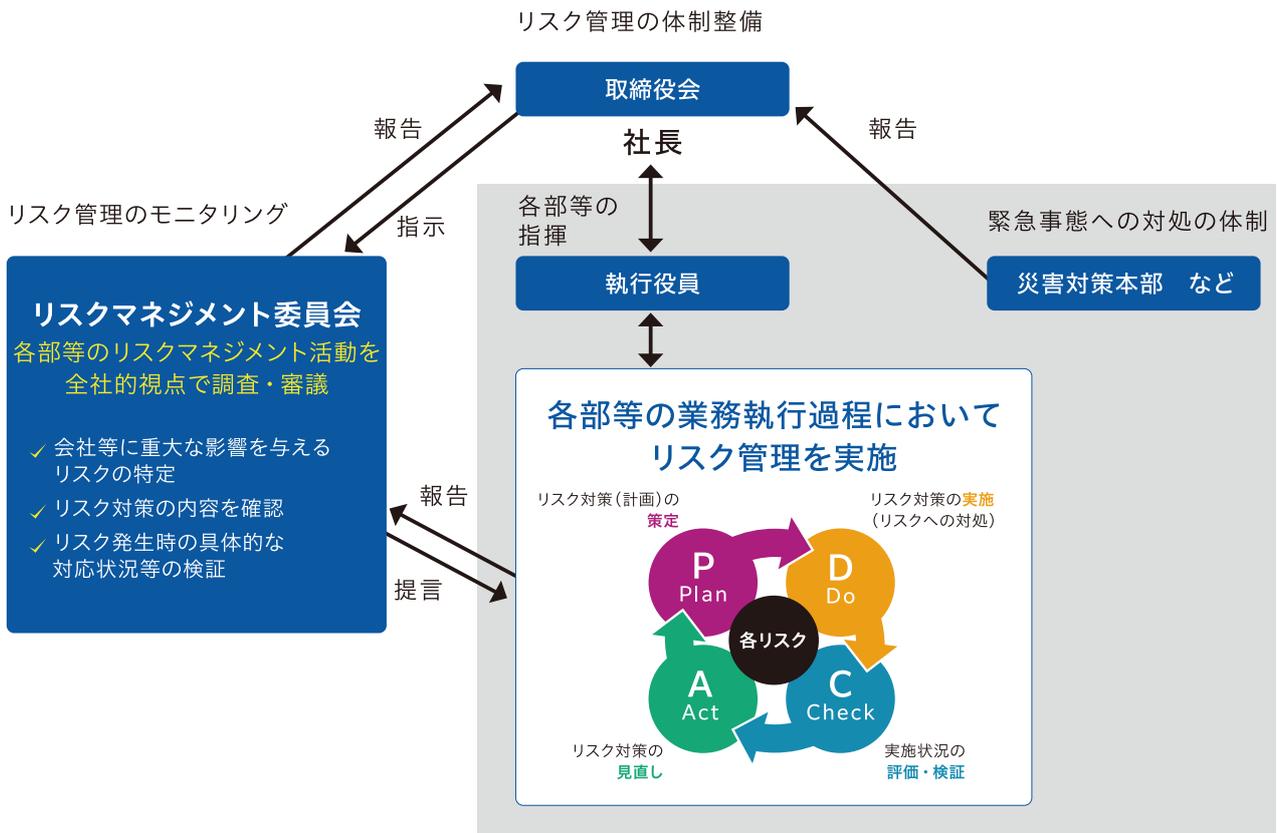


リスクマネジメントの推進

阪神高速道路(株)では、工事、安全、災害、個人情報保護、コンプライアンスなど、経営上の重大なリスクを把握・認識したうえで、発生頻度や発生時の影響度を勘案し、各部門において必要なリスク管理を実施しています。リスクマネジメント委員会は、各部門が実施するリスクマネジメント活動を全社的な視点で調査および審議することで、リスクの未然防止や事案発生時の適切な対応を可能とする実効的な体制を構築し、運用しています。なお、2024年度には、「リスクマネジメント委員会」を3回開催し、審議・報告された情報を取締役会に報告しました。



情報セキュリティの強化

阪神高速道路(株)では、安全かつ安定的で、お客さまおよび関係者から常に信頼していただける組織を目指し、業務上保有する情報資産の適正な取り扱いと情報セキュリティの一層の強化に取り組んでいます。具体的には、経営企画部担当執行役員を筆頭とする「情報セキュリティ委員会」などを設置し、情報資産の重要度に応じた安全対策の実施、標的型攻撃メール訓練などの社員教育の継続的な実施のほか、サイバー攻撃や情報漏洩への技術的な対策など、さまざまなリスクに対応すべく、物理的、人的および技術的なセキュリティ対策について、グループ一体となって取り組んでいます。なお、2024年度には「情報セキュリティ委員会」を3回開催しました。

これ以外にも、働き方改革およびデジタル化の進展に対応すべく、社内規則などの運用ルールの整備・改善や最新のICTソリューションを活用した安全対策も進め、阪神高速グループ全体としての情報セキュリティのさらなる強化に取り組んでいます。